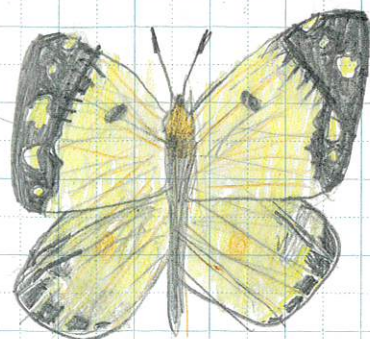
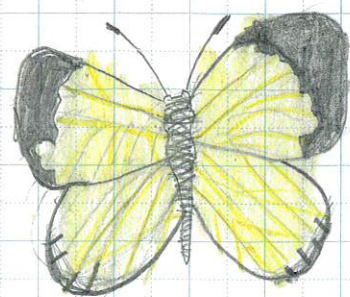


名前 キタキチョウ モンキチョウ

絵



分類 キョウ目シロチョウ科  
ウ科モンキチョウ  
ウ亜科キョウ目シロチョウ科  
ウ亜科キョウ目シロチョウ科

大きさ 20〜27mm 23〜30mm

分布 日本、アフリカ、インド、東南アジア諸国、オーストラリアなど  
日本、トルコ、中央アジア、ヨーロッパ

生息場所 草原、畑公園、庭など 公園、草原、河原など

食べ物 幼虫：ネムキヤハギ類などの葉  
幼虫：シロツメグサ、ミヤコグサ、レゲツウ、コゴツチギ

成虫：花のみつなど 成虫：花のみつなど

じき 3月〜11月 7月〜8月

寿命 成虫：2週間 6週間  
幼虫：1カ月半

くわしくかいてますね

① 実は、キタキチョウの方が日本ではよく見られる。キタキチョウは、成虫で冬眠するので、一年中見られて、じゅうモンキチョウより長い。モンキチョウははねのうらがわに、大きな黒い紋がついている。キタキチョウにはそれがない。モンキチョウのメスには、白いものもある。キタキチョウよりもモンキチョウの方が少し大きい。

② 実は、さい近つかまえたチョウが、モンキチョウかと思っていただけで、キタキチョウだと分かったの、びっくりしました。また、他のにている生き物のちがいを、調べたいと思いました。

にているチョウでも、いろいろなちがいが、あるのですね！ 気にならなくて、くわしく調べられていますね！